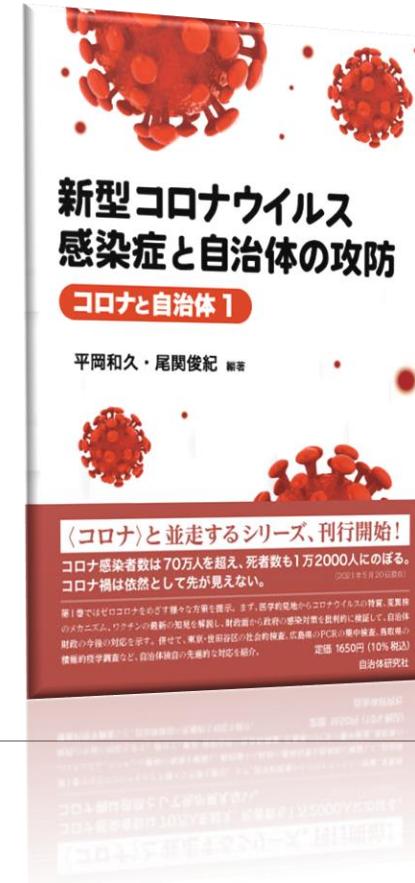


# 新型コロナウイルス 感染症と自治体の攻防

## コロナと自治体 1

勇気の最上の部分は判断力だ。  
俺はそれで自分の命を救った。  
フォルスタッフ。ヘンリー4世。シェイクスピア



協立総合病院内科 尾関俊紀

# コロナと自治体1の内容

---

- 1.新型コロナウイルスの検査とワクチン 徳田安春
- 2.新型コロナ禍と自治体の対応 平岡和久
- 3.世田谷区でのPCR検査体制の拡充、社会的PCR検査 保坂展人
- 4.広島県での社会的PCR検査 大野正喜
- 5.鳥取県における積極的疫学調査 市谷知子
- 6.練馬区モデルにおけるワクチン接種 斎藤文洋
- 7.高知県、過疎地でのワクチン接種 大川剛史・岡上則子

# 新型コロナ感染症の経過

---

世界: 感染者数 633, 789, 712 死者数 6, 604, 940

日本: 感染者数 22, 902, 805 死者数 47, 342

(2022.11.9現在)

- ・2021年3月にはアルファ株に置き換わり(世界での動向)
- ・2021年6月にはデルタ株
- ・2022年1月にはオミクロン株へ置き換わった。
- ・2022年7月にはオミクロン株でもBA5へと変化した。

# オミクロン株へのウイルス変異後の変化 1

---

- 1.オミクロン株は下気道(肺)よりも上気道(のど)につきやすい。
- 2.肺炎の頻度が少なく、重症化率、死亡率が低く、感染可能期間が短い。反面感染力が強く、小児にも感染する。
- 3.感染力の強いオミクロン株に対してゼロコロナをゴールとすることは難しくなってきた。

# オミクロン株へのウイルス変異後の変化 2

---

4. 換気の重要性が認識されるとともに、一律的な行動制限はさけて、高齢者、ハイリスク者中心の予防。

5. 保健所への報告は、65歳以上、入院を必要、重症化リスクがあり、投薬か酸素投与が必要な人、妊婦者に限られた。それ以外は自分で自治体の健康フォローアップセンターへ登録、相談することとなつた。患者数は引き続き報告される。隔離期間も短縮された。

# ウィズコロナ時代の感染予防・健康増進と自治 体 1

---

1. ウィズコロナはコロナがないかのように振る舞うことではない。流行が予想される変異株の特徴に合わせて、科学的知見に基づく予防が必要となる。
2. コロナウイルス感染症後遺症、ワクチン副反応への対処。
3. パンデミックによる社会生活障害による健康被害(フレイル・受診中斷など)への対策が必要。

# ウィズコロナ時代の感染予防・健康増進と自治 体 2

---

4.自治体の健康フォローアップセンターの円滑運営が大切。

5.都道府県からの「対策強化宣言」「医療非常事態宣言」が提案される中で、地域の実情にあつた、きめの細かい対策を行う上で自治体の役割は大きくなっている。